

株式会社ジェイコム東京 港・新宿局 放送番組審議会 議事録

令和３年度(2021年度)株式会社ジェイコム東京港・新宿局 放送番組審議会は、
2022年3月17日(木) 東京都新宿区大久保 1-3-21 ルーシッドスクエア新宿イースト 5F
株式会社ジェイコム東京 港・新宿局会議室で開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

須永 達雄 様(会長)

神田 隆弘 様

佐藤 伸弘 様

境 睦 様

佐藤 正晴 様

野澤 靖弘 様

山中 秀樹 様

山田 和男 様(大崎 秀夫さま代理)

ご欠席

村上 京子 様

坂本 力 様

伊藤 節子 様

大崎 秀夫 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】進行:須永会長

■番組内容について

委員

平日の夕方、毎日放送されている「ジモト応援！つながる News」は、テロップが読みやすく、また8つのテーマのカテゴリーがシンプル且つ的確で感心した。半面スタジオの背景がカラフルなのはいいが、工夫したほうが良いのではないかと。

事業者

テロップの見やすさを重視している。年齢の高い方にも目から情報が入ってくるよう意識している。スタジオの背景については、数年前に宇宙船をイメージして製作していたが、今後工夫していきたい。

■コミュニティーチャンネルのプロモーション強化について

委員

地上波で「モバイル5G」のCMが絶え間なく放送されていたが、「モバイル5G」「J:COM LINK mini」に関わりを持ったユーザーに対して、こんな面白い地元の番組をやっているんだという、導線的な繋がりを作っていく必要があるのではないかな。

事業者

「モバイル5G」という入口からコミュニティーチャンネルを知ってもらい、テレビを見ない若者には「ど・ろーかるアプリ」を通じて、今後更に視聴拡大していける様な施策を実施していきたい。

■地域メディアの価値向上について

委員

環境問題への対応やダイバーシティの推進などへの企業の取組みが課題とされる中、「ESG経営」という経営戦略が注目されている。地域に貢献する企業や団体の取組を放送で取り上げる事で、働くスタッフの定着率向上につながり、地域に喜ばれるのではないかな。

またコロナ禍で行政の助成金手続きなどの情報が行き渡ってないのではないかな、より分かりやすい内容を案内したらどうだろうか。

最近は大学で公開講座を解放しており、地域連携した番組作りはできないだろうか。

事業者

「ジモト応援！つながる News」で、SDGsのコーナーをはじめており、新たな取組を今後柔軟に対応していきたい。

■今後の期待について

委員

地域で、地域情報番組を放送する媒体として、少年少女からシニア層までのスポーツ大会を長い期間を通じて放送してもらっている事は、非常にありがたい。

新宿区では区民の13%が外国の方で、港区もそうだが、ともに外国人が多いエリアでは、番組インタビューに通訳が必要な場合もあり、今後番組をバージョンアップしていくには、番組スポンサーを増やしていく必要があるのではないかな。

事業者

J:COM エリア内で、これほど外国の方が多いのは港・新宿局だけである。

外国の方にも視聴していただき、番組をよりよく、新しい番組を増やしていく為に、番組スポンサーさま、区民の皆さまなどの応援を増やししながら、挑戦していきたい。

委員

日本にある大使館の殆どが港区に集中しており、ロシア大使館もあればウクライナ大使館もある。大使館の奥さんの料理の紹介など身近で家庭的な内容を放送する等、実施してみてもはどうだろうか。

事業者

地域の皆さまのご意見を聞き、ご期待に応えていく所存です。

以上